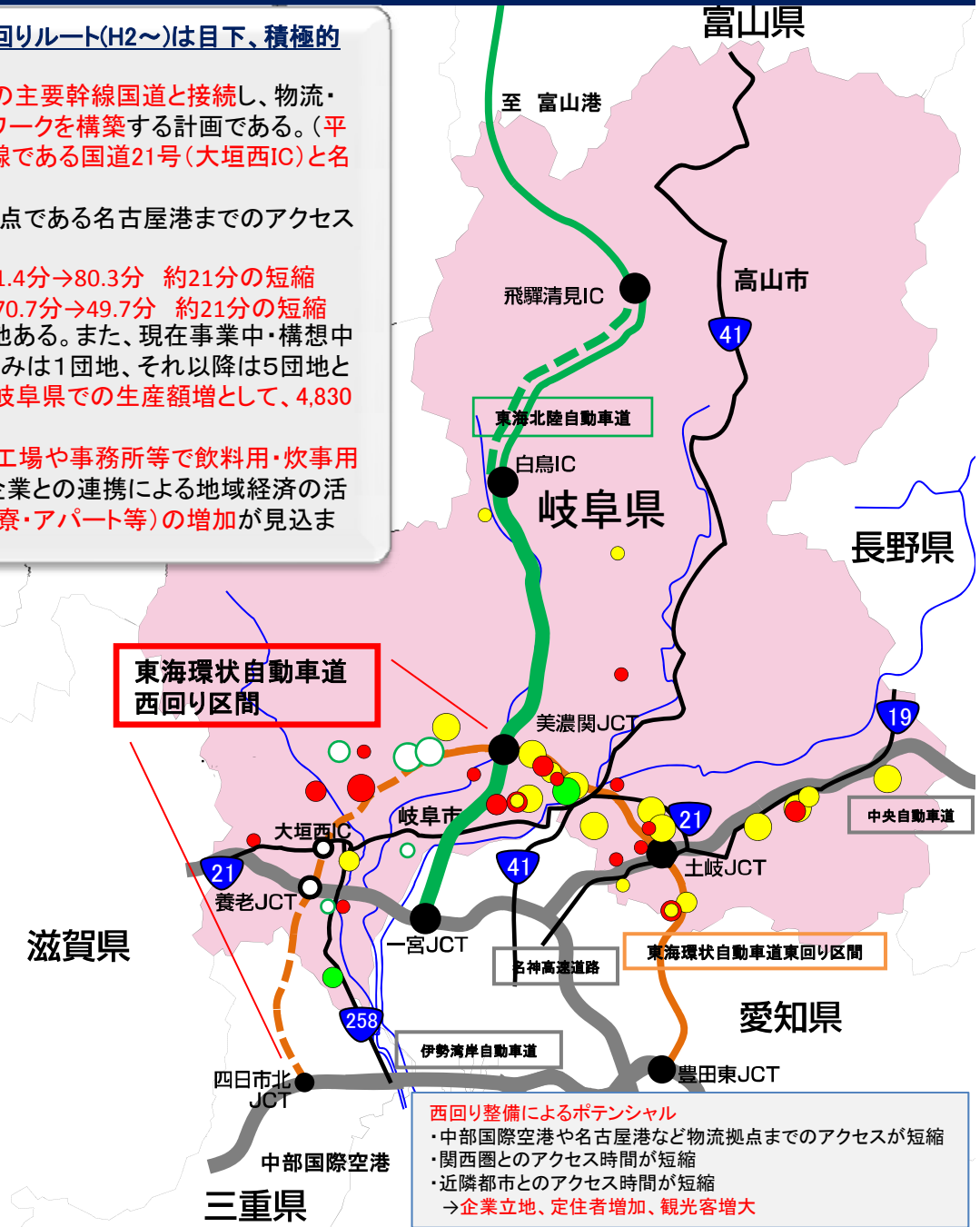


- 東海環状自動車道東回りルート(H元～)は平成17年に開通、西回りルート(H2～)は目下、積極的に整備進行中。
- 東海環状自動車道は、既存高速道路との接続のみならず、**県内の主要幹線国道と接続し**、物流・観光などの地域経済の持続的発展の基礎となる**骨格幹線ネットワークを構築する計画**である。(平成24年度(ぎふ清流国体)までには県内で最も交通量の多い路線である国道21号(大垣西IC)と名神高速道路(養老JCT)が接続される予定。)
- 東海環状西回りが整備されることにより、中部国際空港や物流拠点である名古屋港までのアクセス圏が飛躍的に拡大する。  
例)JCTが設置される養老町から中部国際空港へのアクセス: 101.4分→80.3分 約21分の短縮  
" 名古屋港までのアクセス : 70.7分→49.7分 約21分の短縮
- 西回り区間沿線における企業立地済・分譲中の工業団地は7団地ある。また、現在事業中・構想中である団地は6団地あり、そのうち平成24年までに完成する見込みは1団地、それ以降は5団地となっている。民間シンクタンクによる試算では、**西回り整備による岐阜県での生産額増として、4,830億円**が見込まれており、今後の工業用水の需要が期待される。
- 水道用水においても、西回り区間沿線における企業誘致により、**工場や事務所等で飲料用・炊事用等を目的とした、水道水の利用率増加**が見込まれる他、既存企業との連携による地域経済の活性化や雇用の確保・安定化が図られることにより、**定住者(戸建・寮・アパート等)の増加**が見込まれる。

凡例

	分譲面積 (m <sup>2</sup> )		
	50,000 未満	50,000 以上 100,000 未満	100,000 以上
工業団地 (既に企業が立地している団地)	●	●	●
工業団地 (H22.3現在分譲中の団地)	●	●	●
計画工業団地 (H24までに完成見込みの団地)	●	●	●
計画工業団地 (H24以降に完成、もしくは完成時期未定の団地)	○	○	○
利水規模 (期待値)	小 → 大		

※ 企業立地済工業団地は分譲済面積  
分譲中及び計画工業団地は、分譲可能面積(見込値)にて表示



**西回り整備によるポテンシャル**  
 ・中部国際空港や名古屋港など物流拠点までのアクセスが短縮  
 ・関西圏とのアクセス時間が短縮  
 ・近隣都市とのアクセス時間が短縮  
 → 企業立地、定住者増加、観光客増大